



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 2020年10月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	159,280	△8.5	6,027	28.6	6,166	23.7	6,252	157.7
2020年2月期第2四半期	174,084	4.1	4,686	△22.3	4,985	△20.5	2,426	△39.9

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 6,958百万円(-%) 2020年2月期第2四半期 148百万円(△88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	197.43	—
2020年2月期第2四半期	76.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	170,972	92,281	50.2
2020年2月期	171,071	86,348	46.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 85,896百万円 2020年2月期 80,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年2月期	—	32.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△6.2	8,000	△25.3	8,200	△26.0	7,200	10.6	227.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	32,267,721株	2020年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	658,557株	2020年2月期	597,994株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	31,670,789株	2020年2月期2Q	31,667,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、世界的に猛威を奮いつつある新型コロナウイルス感染症への対応に迫られ、多くの業界において営業の短縮・停止や売上の不振など甚大な影響を受けました。期間後半には国を挙げての対策により感染拡大は収まりつつあるものの、経済活動の回復には未だ至っていない状況です。当食肉業界におきましては、外食業においては壊滅的な被害を被ったものの、小売業態においては、比較的堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是に基づき、食品の供給というエッセンスワークを行う事業者として、食肉商品の安定的供給と事業継続に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需要と供給の両面において混乱が生じる中、安定的に事業を継続することと、お客様へ商品を確実にお届けすることを主眼に諸施策を行いました。営業、製造それぞれの現場において、感染防止のための衛生管理の徹底、事業継続計画の実施などを行い、食品の流通に支障が出ないように業務を遂行いたしました。また、勤務体制や会議実施形態の見直しを行い、ウィズコロナにおける事業のあり方も模索しました。製造事業においては、国民の生活様式の急激な変化による新たな需要に対応するため、新たな製品作りに取り組みました。生産事業においては、長年注力してきた北海道の豚肉ブランド「ゆめの大地」の増頭投資が完了し、新農場からの出荷も始まりました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安心・安全な食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、4月に入ってから緊急事態宣言発出以降、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりましたが、5月後半の同宣言解除以降、営業時間の制限などの制約はあるものの、全店での営業を再開しております。今後とも、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防対策をした上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売価格が下落したことなどにより、売上高1,592億8千万円（前年同四半期比8.5%減）、家庭需要の高まりから小売店向けの販売が好調に推移したことなどにより、営業利益60億2千7百万円（前年同四半期比28.6%増）、経常利益61億6千6百万円（前年同四半期比23.7%増）、固定資産売却益を40億5千万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益62億5千2百万円（前年同四半期比157.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,443億3千6百万円（前年同四半期比9.2%減）、セグメント利益は57億7千3百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は118億4千5百万円（前年同四半期比13.3%増）、セグメント利益は9億6千1百万円（前年同四半期比127.3%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は23億8千7百万円（前年同四半期比39.1%減）、セグメント損失は1億7千1百万円（前第2四半期連結累計期間1億5千8百万円の利益）となりました。

④その他

売上高は7億1千1百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント損失は5千6百万円（前第2四半期連結累計期間8千4百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて9千9百万円減少し、1,709億7千2百万円となりました。これは主に、売上高減少に伴う売上債権が減少した一方で、現金及び預金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて60億3千1百万円減少し、786億9千1百万円となりました。これは主に、売上高減少に伴う仕入債務の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて59億3千2百万円増加し、922億8千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期の業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,644	33,776
受取手形及び売掛金	37,314	33,283
商品及び製品	21,723	22,735
仕掛品	1,215	1,473
原材料及び貯蔵品	2,778	3,955
その他	3,692	2,697
貸倒引当金	△140	△93
流動資産合計	97,228	97,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,764	55,006
減価償却累計額	△24,401	△24,750
建物及び構築物（純額）	28,363	30,255
土地	17,363	15,258
その他	35,756	34,008
減価償却累計額	△22,352	△22,411
その他（純額）	13,403	11,597
減損損失累計額	△2,099	△2,001
有形固定資産合計	57,030	55,109
無形固定資産		
のれん	168	367
その他	557	567
無形固定資産合計	726	934
投資その他の資産		
投資有価証券	12,622	13,581
退職給付に係る資産	117	117
その他	3,621	3,616
貸倒引当金	△276	△216
投資その他の資産合計	16,085	17,098
固定資産合計	73,842	73,143
資産合計	171,071	170,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,569	22,485
短期借入金	8,952	11,270
未払法人税等	1,823	3,166
賞与引当金	1,000	1,182
その他	12,231	10,925
流動負債合計	52,577	49,031
固定負債		
社債	1,120	600
長期借入金	26,730	24,040
役員退職慰労引当金	198	208
退職給付に係る負債	1,989	1,991
その他	2,107	2,819
固定負債合計	32,145	29,659
負債合計	84,722	78,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,707	18,722
利益剰余金	54,801	60,104
自己株式	△418	△413
株主資本合計	77,389	82,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,414	3,028
繰延ヘッジ損益	△11	△2
為替換算調整勘定	299	182
退職給付に係る調整累計額	△29	△24
その他の包括利益累計額合計	2,673	3,184
非支配株主持分	6,286	6,384
純資産合計	86,348	92,281
負債純資産合計	171,071	170,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	174,084	159,280
売上原価	150,687	134,263
売上総利益	23,396	25,016
販売費及び一般管理費	18,710	18,988
営業利益	4,686	6,027
営業外収益		
受取利息	25	37
受取配当金	278	240
受取家賃	97	66
持分法による投資利益	6	14
その他	205	240
営業外収益合計	613	599
営業外費用		
支払利息	142	135
アレンジメントフィー	—	106
為替差損	107	43
賃貸原価	27	53
その他	37	121
営業外費用合計	315	460
経常利益	4,985	6,166
特別利益		
固定資産売却益	2	4,050
投資有価証券売却益	0	12
補助金収入	—	185
負ののれん発生益	30	—
受取保険金	5	—
受取補償金	34	3
特別利益合計	72	4,252
特別損失		
固定資産処分損	186	76
減損損失	481	43
店舗閉鎖損失	1	10
店舗休止等損失	—	216
災害による損失	30	—
固定資産圧縮損	—	181
その他	0	0
特別損失合計	700	529
税金等調整前四半期純利益	4,357	9,889
法人税等	1,760	3,460
四半期純利益	2,597	6,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,426	6,252

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益	2,597	6,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,292	632
繰延ヘッジ損益	1	8
為替換算調整勘定	△148	△112
退職給付に係る調整額	△3	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△5
その他の包括利益合計	△2,448	529
四半期包括利益	148	6,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15	6,763
非支配株主に係る四半期包括利益	163	194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,357	9,889
減価償却費	1,666	2,512
減損損失	481	43
のれん償却額	34	118
支払利息	142	135
負ののれん発生益	△30	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	182
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12	8
受取利息及び受取配当金	△304	△278
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△4,049
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,899	3,986
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,029	△2,480
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,381	△6,071
補助金収入	—	△185
受取補償金	△34	△3
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△241	140
その他	1,217	1,292
小計	736	5,240
利息及び配当金の受取額	304	288
利息の支払額	△140	△135
法人税等の支払額	△1,645	△2,268
補助金の受取額	—	0
補償金の受取額	34	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	△712	3,128
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	499	△0
有形固定資産の取得による支出	△7,143	△3,845
有形固定資産の売却による収入	12	6,401
無形固定資産の取得による支出	△195	△53
投資有価証券の取得による支出	△259	△5
投資有価証券の売却による収入	7	27
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,577	—
貸付けによる支出	△643	△1,643
貸付金の回収による収入	1,309	1,390
補助金の受取額	—	184
その他	△112	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,102	2,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	195	2,321
長期借入れによる収入	7,724	1,080
長期借入金の返済による支出	△2,224	△4,210
社債の償還による支出	△50	△550
子会社の自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△884	△950
非支配株主への配当金の支払額	△76	△76
その他	△42	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,640	△2,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,309	3,132
現金及び現金同等物の期首残高	39,453	30,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,143	33,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、不確実性が大きく将来の事業計画等の見込数値に反映させることが難しい要素がありますが、見積り項目に与える影響は軽微であると考えております。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を置いて固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	158,986	10,455	3,921	173,363	720	174,084	—	174,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,063	41	188	4,293	97	4,391	△4,391	—
計	163,049	10,497	4,110	177,657	818	178,475	△4,391	174,084
セグメント利益	4,709	423	158	5,291	84	5,376	△689	4,686

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△689百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△649百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計			
減損損失	471	6	3	481	—	—	481

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	144,336	11,845	2,387	158,568	711	159,280	—	159,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,862	54	158	4,075	216	4,291	△4,291	—
計	148,199	11,899	2,545	162,644	927	163,571	△4,291	159,280
セグメント利益 又は損失(△)	5,773	961	△171	6,563	△56	6,507	△479	6,027

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△479百万円には、セグメント間取引消去157百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△636百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。